

3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

(1) 次代の親の育成

<現状と課題>

少子高齢化・核家族化の進展とともに、身近に赤ちゃんが少なくなったため、乳幼児に接する機会がないまま、親になる世代が増えています。

子どもの頃から赤ちゃんや年下の子どもと出会い、ふれあう機会をもつことによって、子育ての楽しさや子どもを産み育てることの意義、男女が協力して家庭を築くことの大切さを啓発していくことが大切です。このことから、保育所、幼稚園、児童センター及び乳幼児健診の場等を活用し、乳幼児とふれあう機会を広げるための取組が必要になります。

<今後の取り組み>

子どもを産み育てることの意義に関する教育・広報・啓発の推進を図ります。

実施事業

次代の親の育成

事業名	事業内容	担当課
中学生社会体験チャレンジ事業	生徒が保育所や幼稚園、児童センター等で社会体験活動（職場体験）を通して乳幼児や年下の子どもとふれあうことにより、子どもを生み育てることの意義を理解し、子育ての楽しさを体験するよう図る。	学校教育課

(2) 児童の健全育成

<現状と課題>

学校週5日制により子どもの自由時間が増大する一方、少子化、核家族化の進行により、外で元気に大人数で遊ぶ子どもの姿が見られなくなり、室内で少人数または一人で遊ぶ子どもが増加しています。このことにより、友だちと遊ぶことによって培われる善悪の判断や公共のルール・マナーなど基本的な倫理観や相手を思いやる心が育まれず、忍耐力や自制心の欠如した子どもが増えていると言われていています。

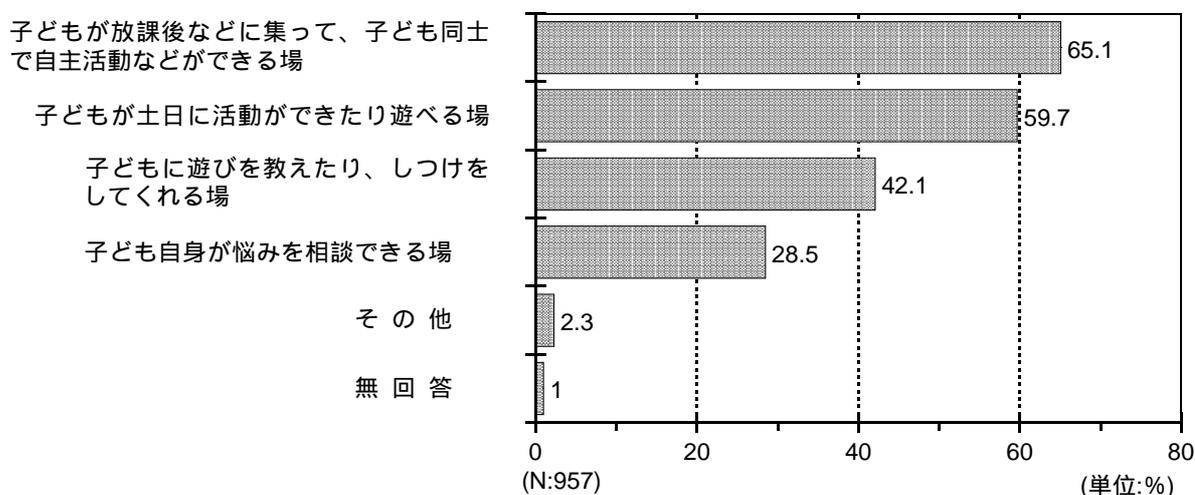
また、子どもは、子ども同士のふれあいや大人との人間関係の中で、それぞれの発達段階に応じた経験・体験が必要であり、そのことが愛情や信頼感、思いやる心を育てます。こうしたことから、子どもたちが地域の中で自由に遊び、安全に過ごせる場の創造や様々な体験ができる機会を提供する必要があります。

アンケート調査によると、身近に子ども同士が交流する場ができたなら、どんな場が望ましいかでは、「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動ができる場」、「子どもが土日に活動ができたり遊べる場」という回答が共に多く、子どもたちが自由に集まって活動できる場が求められていることが分かります。

現在本市には、2か所に児童センターがあり、子どもが放課後や土曜日に安全に、自由に遊ぶことのできる居場所として役割を果たしているほか、様々なイベントを行っています。

さらに、子どもを健やかに育てていくためには、地域ぐるみで子どもを見守ることが大切です。そのためには、子どもに関わる家庭、学校、地域の連携を強化し、親同士が交流を深め、地域の子どもの問題や子育てについて情報を交換し合い、子どもの遊び場や居場所づくりの検討を進め、子どもたちが学習や遊びなどの活動しやすい環境を整えることが必要です。

身近に子ども同士が交流する場ができたなら、どんな場が望ましいか（小学校児童）（複数回答）



資料：アンケート調査

< 今後の取り組み >

子どもが自主的に参加し、自由に遊べ、安全に過ごすことのできる放課後や週末等の居場所づくりを推進します。また、地区や年齢を超えて交流できるようなイベントや行事の開催を積極的に推進し、世代間（異年齢）交流を活発化させることに努めます。

さらに、親子づれが日常的に集まり、交流や情報交換、気軽に子育て相談をできる場所としての「つどいの広場」事業の開設も検討していきます。

実施事業

児童の健全育成

事業名	事業内容	担当課
青少年健全育成事業	地域団体への助成をはじめ、本庄市青少年育成市民会議を通じて、「家庭の日」の普及、「青少年健全育成のつどい」、「親子名作映画劇場」、「非行防止緊急パトロール」及び「啓発活動」等を行う。	生涯学習課
地域子ども教室推進事業	家庭・学校・地域が連携し、子どもの居場所づくりと地域で子どもを育てるための環境整備を目的に、各体験活動事業等を行う。	生涯学習課
家庭児童相談事業（再掲）	家庭における適切な児童の養育と、養育に関連して発生する児童の問題の解決を図るため、家庭児童の福祉に関して、電話や来庁、また訪問により相談を受け指導を行い、必要な場合は関係専門機関への紹介を行う。	子育て支援課
児童センター事業の充実	地域住民のニーズに対応する事業が展開できる複合施設として、また、子育て支援の地域拠点として、事業内容の充実を図る。	子育て支援課
つどいの広場事業（再掲）	主に乳幼児（0歳～3歳）を持つ子育て中の親がうちとけた雰囲気の中で気軽に集い、交流し、子育ての相談ができる場を提供する。	子育て支援課
本庄市児童虐待防止ネットワーク会議（再掲）	児童虐待問題に対応するため福祉・保健・医療・教育など関係機関が連携し、子どもや家族への援助の方法や対策を協議し対応を図る。（要保護児童対策地域協議会へ移行予定。）	子育て支援課
主任児童委員定例会議	児童福祉専門の担当として情報交換と研修等により資質向上に努め、児童委員の地域における活動への援助・協力と関係機関との連絡・調整により、児童委員と一体の活動を行う。	福祉課
本庄市民生委員・児童委員協議会	児童委員として地域における家庭・児童の健全育成の活動に取り組み、児童・母子福祉及び障害児者福祉の両部会を中心に各種後援会、施設見学等を実施、資質向上を図る。	福祉課

事業名	事業内容	担当課
本庄市国際交流協会への補助事業	市民を主体とした幅広い分野における国際交流を推進し、異文化の相互理解を深め、世界の人々の友好親善を図るとともに、世界に開かれたまちづくりのために、市民の国際認識や国際理解を高揚していくことを目的とする。	秘書広報課
おはなし会	就学前児童親子や小学校低学年を対象に、図書館本館では毎月第2・4土曜日に、図書館児玉分館では毎月第2土曜・第3日曜日にボランティアといっしょに児童の健全育成に役立つ本の読み聞かせや本の紹介、紙芝居、パネルシアターを実施する。	図書館
ビデオ上映会	就学前児童親子や小学校低学年を対象に、毎月第3土曜日に世界や日本の名作ビデオの上映会を実施する。	図書館
子ども体験教室	市内の小学生を対象に各公民館で様々な体験教室を実施。また、夏休み時期にも「サマーチャレンジ」として各公民館で様々な体験教室を実施する。	生涯学習課

(3) 子どもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備

<現状と課題>

学校は、子どもたちにとって、いかに社会が変化しようとして、自分で課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断して問題を解決する資質や能力である「生きる力」と、生命の尊さを感じ、他人を思いやる「豊かな心」を育てていく場であり、そのためには、一人ひとりの個性を伸ばし、社会で発揮できるよう質の高い、魅力にあふれた教育を展開することが必要です。

一方、家庭生活が変化し、少子化による遊び相手の減少などにより、日常生活において体を動かす機会が減少していること、現代社会における大人のライフスタイルが子どもに反映され、食事、睡眠などの基本的な生活習慣が乱れてきていることなどから、子どもの体力の低下が危惧されています。子どもが生涯にわたって積極的にスポーツに親しむ習慣や意欲、能力を育成するため、優れた指導者の育成、確保や、指導方法の工夫、改善等を進め、スポーツ環境の充実を図ることが重要です。

また、いじめや少年非行等の問題行動や不登校に対応するために、専門的な相談体制の強化や、学校、家庭、地域及び関係機関との間のネットワークづくり等も必要です。さらに、子どもに安全で豊かな学校環境を提供するために、学校施設の整備を適切に行っていくことも必要となります。

社会や経済のしくみが大きく変わっていく中で、学校教育に求められる役割も大きく変化しており、幼稚園、保育所、小学校の連携を深め、家庭、地域とも連携し、地域に開かれた学校づくりと地域に根ざした特色ある学校づくりを進める必要があります。また、子どもが安全に安心して教育を受けられるように、安全に関する教育や不審者対応マニュアルなどを作成するなど、安全管理体制の確立が必要になります。

<今後の取り組み>

次代の担い手である子どもたちの実態を把握し、生きる力の育成に向け、確かな学力を身に付け、豊かな心と健康な体を育ていけるよう、学校教育環境等の整備を行います。

また、学校評議員制度の導入により、地域及び家庭と学校との連携・協力を図り、地域に根ざした特色ある学校づくりを推進します。

実施事業

確かな学力の向上

事業名	事業内容	担当課
国際理解教育の推進	地域の外国人との交流を通じて、異文化理解を深めるとともに、日本語指導教室（小学校3教室、中学校1教室）を設置し、通訳を配置することにより、外国人児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図る。	学校教育課
教育相談事業の充実（再掲）（学校補助員による授業支援）	小・中学校にふれあいボランティア等を配置し、教育相談や学習支援を行う。	学校教育課
教育用コンピューター・ネットワーク化の整備	情報化の進展に対応した学習環境を整備するため、各小・中学校の教室・特別教室等コンピューターとインターネット等のネットワークを整備する。	学校教育課
IT活用能力を高める情報教育の充実	IT活用指導力向上のための教員研修の充実により、各教科でのIT活用能力を高める情報教育の充実を図る。	学校教育課

豊かな心の育成

事業名	事業内容	担当課
総合的な学習時間の支援	総合的な学習の時間の活動を支援するために、文化施設等への協力依頼を行うとともに小・中学校の連携を図る。	学校教育課
中学生社会体験チャレンジ事業（再掲）	生徒が地域の中で様々な社会体験活動（職場体験）を通して、多くの人々とふれあい、学校では得られない経験を積むことで、豊かな感性や社会性、自立心を養い、たくましく豊かに生きる力を育む。	学校教育課
地域ふれあい講演会	地域の多様な体験を持つ人の話を聞くことで、中学生に豊かな心を育むとともに、広い意味でのキャリア教育を行う。	学校教育課
地域の人材活用の推進	地域の人材を授業、行事、部活動等に生かすことにより、児童、生徒の興味関心を高め、学校の活性化の推進を図る。	学校教育課
教育相談事業の充実（再掲）	さわやか相談室の機能を生かし、教育相談員の配置を見直し、スクールカウンセラー等との連携を一層密にし、学校現場での教育相談の充実を図る。併せて、小・中学校にふれあいボランティア等を配置し、児童生徒との積極的なふれあいを通して支援活動を行う。	学校教育課

事業名	事業内容	担当課
こども環境教室	子どもたちに川などの現状や汚れの原因を理解してもらい、排水対策など環境への配慮を啓発する。	環境推進課
青少年平和学習事業	広島市または長崎市で開催される青少年平和学習会に市内4中学校の代表男女各1名計8名を派遣し、核の恐ろしさと戦争のもたらす悲劇を知るとともに、命の大切さ、平和の尊さを学習する。	秘書広報課
中学生まちづくり議会	未来を担う中学生に市議会議場を開放し、中学生議員として本庄市のまちづくりに対する考え方の発表や提案を行い、市政への関心と理解を深めるとともに、市行政への市民参加意識の高揚を図る。	秘書広報課

健やかな体の育成

事業名	事業内容	担当課
定期健康診断事業（再掲）	市内小中学校において、児童生徒の心とからだについて、健康観察、保健調査や健康診断等に基づく健康相談などを通して、児童・生徒の健康の維持、増進に努める。	学校教育課
就学时健康診断事業（再掲）	小学校新一年生になる児童を対象に、健康診断・知的発達検査・ことばの検査等を実施し、その診断結果に基づき、治療の勧告、助言等就学に関し適切な指導を行う。	学校教育課

信頼される学校づくり

事業名	事業内容	担当課
学校評議員制度の導入	学校・家庭・地域が連携し開かれた学校を目指し、学校評議員を設置する。	学校教育課
学校懇談会	児童生徒の支援や育成等について連携して対応にあたるため、市内各小・中学校区の教職員と地域の住民・児童委員との懇談会を実施し、情報交換を行う。	学校教育課
教育副読本の整備	子どもたちが、自分の住む町や地域を理解し郷土を大切に作る心を育てる。	学校教育課
不審者対応マニュアルの作成	児童生徒の安全を確保するため、各学校で不審者対応マニュアル、危機管理マニュアル等を作成、研修を行う。	学校教育課
特色のある学校づくり事業	学校において執行できる予算配当をし、社会の変化に対応した学校運営のあり方を研究し、児童生徒、地域、学校の実態に応じた特色のある学校づくりを推進する。	学校教育課

幼児教育の充実

事業名	事業内容	担当課
私立幼稚園振興補助事業	私立幼稚園の設備整備に対し補助金を交付することにより、子どもの教育環境の改善を図る。	学校教育課
幼稚園就園奨励費補助事業 (再掲)	子どもを幼稚園に通園させている家庭の所得に応じて保育料等の減免措置を行う園に対し補助金を交付し、就園の促進を図る。	学校教育課

(4) 家庭や地域の教育力の向上

<現状と課題>

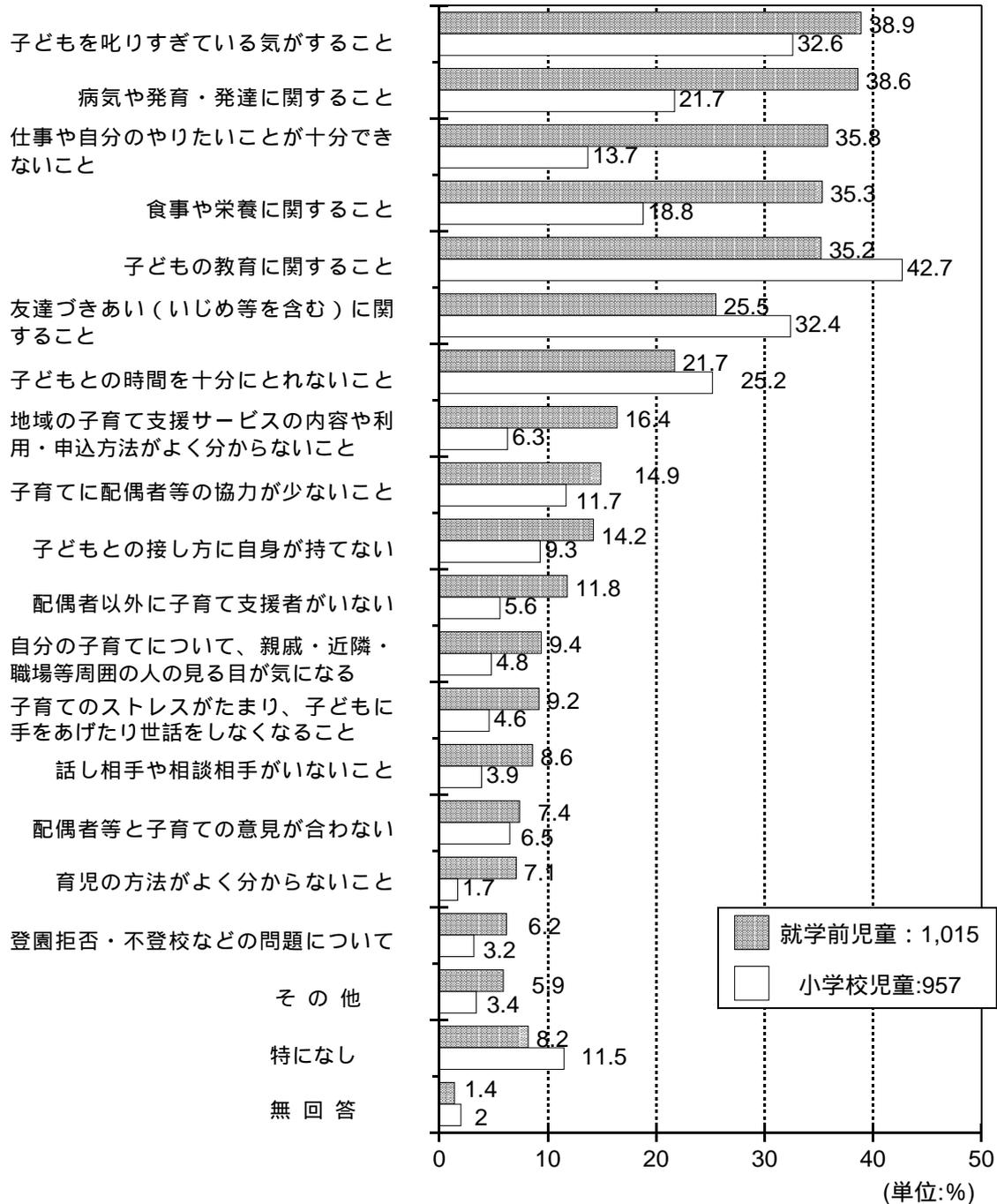
近年、都市化や核家族化、少子化、地縁的なつながりの希薄化など、家庭や家庭を取り巻く社会情勢は大きく変化してきており、家庭の教育力の低下が指摘されています。

家庭教育とは、人が生活していく上での「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成するものであり、すべての教育の出発点と言えます。そして、社会で生活していく上で大切なことを、きちんと身に付けさせるという役割があります。

アンケート調査によると、子育てに関して日常悩んでいること、気になることでは、就学前児童の保護者による5番目に多い回答であった「子どもの教育に関すること」が小学校児童の保護者において最も多い回答になっていることから、子どもの年齢が上がるにつれ、教育に関する悩みが、多くなっていることが分かります。こうしたことから、子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会の提供や子育て中の親が家庭教育に関して気軽に相談できる体制の整備が必要です

また、子どもたちは、地域の中で様々な経験をし、心身ともに健やかに成長していくことが望まれています。子どもが心豊かに成長していくためには、家庭・学校・地域が連携し、地域ぐるみで子どもを育てる、地域の教育力の向上を図らなければなりません。

子育てに関して日常悩んでいること、気になること（複数回答）



資料：アンケート調査

< 今後の取り組み >

家庭教育及び子育てに関する講演会等の開催を通して子育てに関する具体的な支援方法の学習機会を充実していきます。

また、支援事業を通して親の意識改革を図り社会参加を促進し、地域の教育力の充実を図ります。

実施事業

家庭教育への支援の充実

事業名	事業内容	担当課
本庄市家庭教育支援事業	主に幼児から児童をもつ親を対象に「子育て講座」を開催する。	生涯学習課
本庄市立小学校PTA家庭教育学級	本庄市立小学校PTA家庭教育学級運営委員会を設立し、市内全小学校を会場として、主にPTA会員を対象とした家庭教育学級を開催する。	生涯学習課
本庄市立中学校開放講座	本庄市立中学校開放講座運営委員会を設立し、市内全中学校を会場として、それぞれ地域や学校の特色を生かし、各種講座を開催する。	生涯学習課
家庭教育講座	社会教育指導員による家庭教育講座を開催し、若い親や核家族等の子育てを支援する。	生涯学習課
青少年健全育成事業（再掲）	本庄市青少年育成市民会議を通じて、「家庭の日」の普及、「青少年健全育成のつどい」、「親子名作映画劇場」、「非行防止緊急パトロール」及び「啓発活動」等を行う。	生涯学習課
地域子ども教室推進事業（再掲）	家庭・学校・地域が連携し、子どもの居場所づくりと地域で子どもを育てるための環境整備を目的に、各体験活動事業等を行う。	生涯学習課
ブックスタート事業	保健センターで実施している10か月児健康相談時に「読み聞かせ」の説明や実演と推奨本の紹介、ブックスタートパック（絵本と袋）の配布により家庭における幼児の健全育成を図る。	図書館

地域の教育力の向上

事業名	事業内容	担当課
スポーツ・レクリエーション教室の開催	市民が求めるスポーツを振興するため、本庄市体育協会、本庄市レクリエーション協会及び本庄市体育指導委員会と連携を図り、子どもや初心者から参加できるスポーツ教室を開催する。	体育課
スポーツ少年団の育成	少年たちの自由時間活動を、スポーツを中心とした活動で青少年期における人間形成を主眼とし、健康なからだところを育てることを目的とするスポーツ少年団の育成を図る。	体育課
老人クラブ活動育成事業	市民のだれもが老後を健康でいきいき暮らせるように、老人クラブ活動の育成・支援などを図り、この活動の一環として子どもたちとの世代間交流を行う。	介護いきがい課
地域子ども教室推進事業（再掲）	家庭・学校・地域が連携し、子どもの居場所づくりと地域で子どもを育てるための環境整備を目的に、各体験活動事業等を行う。	生涯学習課

(5) 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

<現状と課題>

次代を担う子どもたちを健全に育成することは誰もが望むことです。急激な情報化の進展などにより、テレビやインターネット、また、一般書店やコンビニエンスストアなど身近な場所で様々な情報を入手することができるようになりましたが、各種メディアが提供する情報等には有益なものも多い反面、行き過ぎた暴力・残虐表現を含む情報や性描写等があり、日常生活において子どもの人格形成に悪影響を及ぼすおそれがあることが指摘されていることから、何らかの規制を設けることが求められています。

インターネットを利用する際のマナーについての教育や有害図書等の調査や子どもにとって有害となる施設への立ち入り制限、関係業界に自主的措置をとるよう働きかけはもとより、家庭、学校、地域社会、行政が連携し子どもが健全に育つ環境づくりが必要です。

<今後の取り組み>

子どもの健全育成に関する相談体制や情報提供の充実を図るとともに、街頭巡回指導や広報活動を強化していきます。

また、各種団体、組織及び警察等の関係機関との緊密な連携を図りながら、子どもを取り巻く有害環境対策を推進していきます。

実施事業

子どもを取り巻く有害環境対策の推進

事業名	事業内容	担当課
青少年健全育成事業（再掲）	本庄市青少年育成市民会議を通じて、「家庭の日」の普及、「青少年健全育成のつどい」、「親子名作映画劇場」、「非行防止緊急パトロール」及び「啓発活動」等を行う。	生涯学習課